

東日本 支部 だより

姫路工業倶楽部

東日本支部

第3号

2022年10月



岩手山と一本桜 (岩手県)

岩手山

岩手山は岩手県北西部にある標高2038mの活火山です。青森県から岩手県を経て福島県になる奥羽山脈の岩手県域北部に位置する岩手山は、岩手県の最高峰であり、県のシンボルの一つで、日本百名山に選定されています。岩手山を東側から見ると富士山のような姿をしています。南側或いは北側から見ると連山が繋がっている。その形から南部片富士とも呼ばれています。東側には特別天然記念物である焼走り熔岩流が見られ国内では貴重な存在です。

写真は南山麓の小岩井農場から見た姿で手前の桜の木(エドヒガン)は一本桜としてNHK朝ドラ「どんど晴れ」で紹介され広く知られることになりました。この木は放牧された牛の暑さ対策として植えられたもので明治40年代に植えられたと言われています。

岩手山は県出身の宮沢賢治、石川啄木にも愛された山で宮沢賢治は中学時代に30回以上も登山したそうです。石川啄木の「ふるさとの山に向かひて言うことなしふるさとの山はありがたきかな」の句の山は岩手山ではないかと言われています。岩手山は秋には木々が紅葉し初冠雪が冬の訪れを知らせ春には山頂付近に雪解けによる鷲の形が現れその年の農作業の準備を知らせてくれているから住民に親しまれている山です。

(参考文献・ウィキペディア)

(撮影・内藤 裕一、2022・4・28)